

## ■ 平成25年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

### 1. 概況

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

主な建設改良事業については、七隈線延伸事業において、早期開業を目指し、着工に必要な手続き及び設計等を進め、全工区において土木本体工事の契約を締結し、建設工事に着手しています。

また、営業線改良事業については、安全運行の確保を図るためATC（自動列車制御装置）等の改良を進めるとともに、駅施設の省エネルギー化を図るため、駅照明等のLED化を進めています。また、ユニバーサルデザインに配慮した地下鉄施設の整備推進を図るため、引き続き列車案内システムや駅トイレの改良に取り組んでいます。

増客増収の取組みについては、地下鉄全線乗り放題定期乗車券「ちかパス」や、お得な環境1日乗車券「エコちかきっぷ」等の企画乗車券の販売促進に加え、ICカード「はやかけん」の普及促進として、相互利用の推進や電子マネーサービスの拡充によるお客様の利便性向上、地域イベントや沿線施設等とのタイアップによる乗客誘致活動など、地下鉄利用促進に向けた施策を積極的に推進しています。また、広告の販売促進に取り組むとともに、藤崎駅構内にコンビニエンスストアを誘致するなど資産の有効活用を図っています。

利用者数は、年間乗車人員143,152,450人（1日平均392,198人）で、平成24年度と比較しますと5,906,835人（4.3パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が67,265,595人（1日平均184,289人）で、平成24年度と比較しますと5,193,840人（8.4パーセント）増加しており、定期外の利用者が75,886,855人（1日平均207,909人）で、平成24年度と比較しますと712,995人（0.9パーセント）増加しています。

このため平成25年度の乗車料収入（消費税抜き）は237億8,073万円で、平成24年度と比較しますと、9億820万円（4.0パーセント）の増となっています。

経営状況については、総収益279億909万円に対し、総費用は264億2,663万円で、差引14億8,246万円の純利益が生じ、その結果、平成25年度末における累積欠損金は1,377億663万円となっています。

今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めます。

## 2. 収益的収支及び資本的収支

収益的収支	金額
収入	29,177 百万円
支出	27,630 百万円
差引	1,547 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	1,483 百万円

平成24年度末累積損益      △ 139,190百万円  
 平成25年度損益              1,483百万円  
 平成25年度末累積損益      △ 137,707百万円

資本的収支	金額
収入	23,828 百万円
支出	32,237 百万円
差引	△ 8,409 百万円

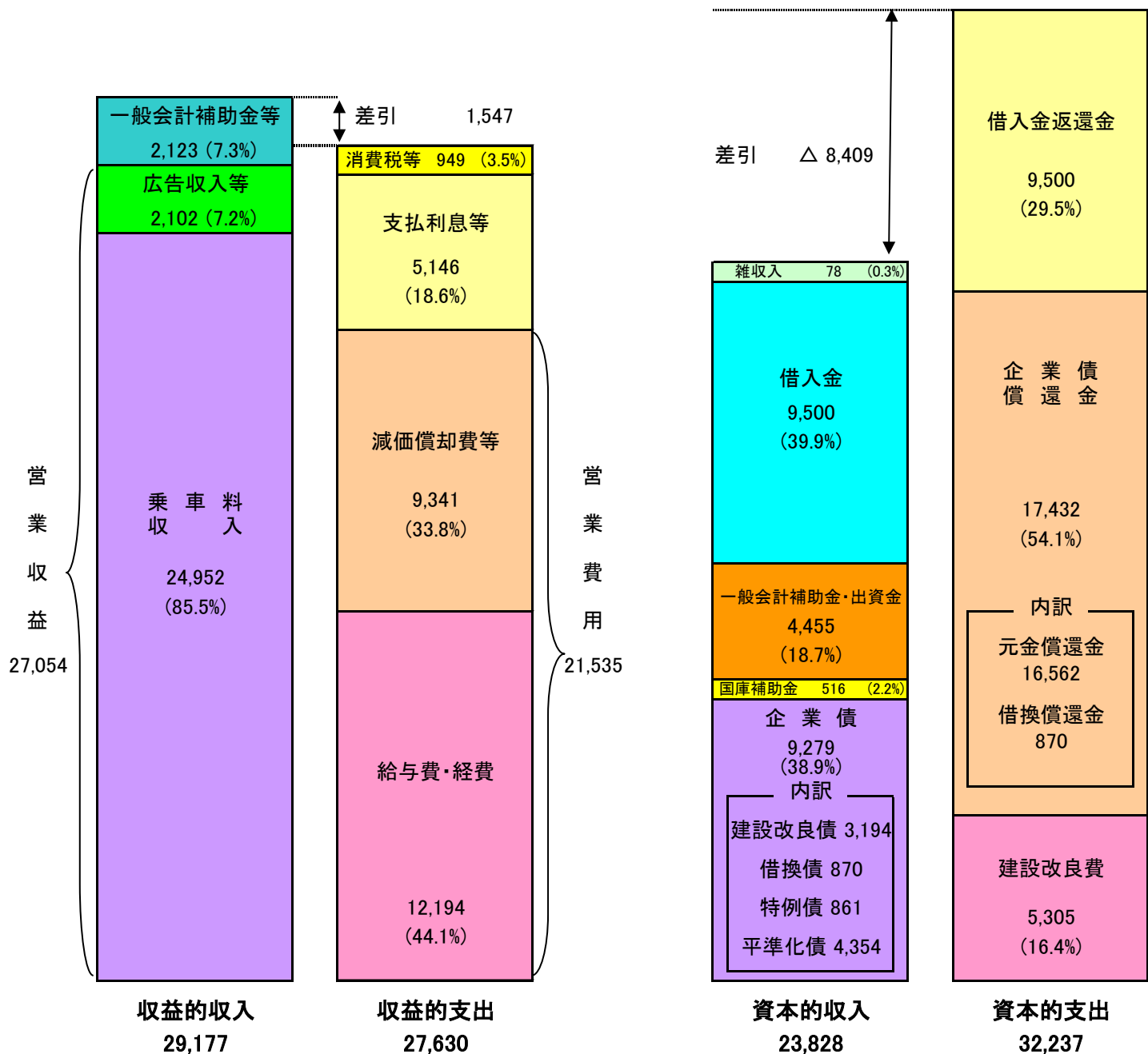
減価償却費等の非現金支出	9,404 百万円
+ 26年度への繰越工事資金	△ 55 百万円
+ 24年度からの繰越工事資金	1 百万円
+ 収益的収支の黒字額	1,547 百万円
損益勘定留保資金	10,897 百万円

補填

平成25年度末累積資金過不足額 △ 26,829 百万円

収益的収支  
(単位:百万円)

資本的収支  
(単位:百万円)



### 3. 業務量(年間又は年度末)

#### (1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,638,684 キロメートル

(4) 年間輸送人員 143,152,450人

(5) 一日平均輸送人員 392,198人

#### ○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	338,318 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	71,437 人
乗継ぎ分(c)	17,557 人
全線計(a)+(b)-(c)	392,198 人

### 4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	1,983,976 千円
営業線改良事業	事業費	3,320,625 千円

## 5. 重要施策

区 分	事 業 概 要								
① 七隈線延伸事業 事業期間 H24～ H24 304,006千円 1,983,976千円	早期実現に向け、着工に必要な手続き及び設計等を進め、建設工事に着手した。 (土木構造物実施設計、土木工事 等)								
② 安全運行の確保 ATC等改良工事 事業期間 H18～ H24 515,532千円 525,565千円	経年劣化したATC(自動列車制御装置)等の列車制御装置を年次計画により改良した。 (中洲川端駅、1000N系・2000系車両)								
③ 駅施設の省エネルギー化 駅照明等のLED化改良工事 事業期間 H24～ H24 119,943千円 86,311千円	ホーム、コンコース等の照明や誘導灯のLED化を推進した。 (照明…中洲川端駅) (誘導灯…姪浜駅、大濠公園駅、祇園駅、呉服町駅)								
④ ユニバーサルデザインに配慮した整備推進	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="241 1439 1146 1668">               (ア) 列車案内システム等改良工事                事業期間 H24～26                H24 166,857千円                644,814千円             </td> <td data-bbox="1146 1439 1980 1668">               駅ホーム及び改札口の列車案内設備について、行先表示や乗換情報を充実させるとともに、経年劣化した運転システムの改良を実施した。(空港線、箱崎線)             </td> </tr> <tr> <td data-bbox="241 1668 1146 1899">               (イ) 駅トイレ改良工事                事業期間 H18～                H24 36,792千円                1,785千円             </td> <td data-bbox="1146 1668 1980 1899">               経年劣化した駅トイレの改良を年次計画により実施した。(中洲川端駅実施設計)             </td> </tr> <tr> <td data-bbox="241 1899 1146 2131">               (ウ) 駅階段の段差明瞭化改良工事                事業期間 H25～                20,355千円             </td> <td data-bbox="1146 1899 1980 2131">               年次計画により、駅階段の段差部分の視認性向上を図り、滑りにくいものに改良した。                (西新駅、大濠公園駅、赤坂駅、千代県庁口駅)             </td> </tr> <tr> <td data-bbox="241 2131 1146 2359">               (エ) 車内優先スペース案内表示整備                13,145千円             </td> <td data-bbox="1146 2131 1980 2359">               車内車いすスペースの床面に、滑りにくい素材で、車いす・ベビーカー等の優先表示を整備した。                (全車両)             </td> </tr> </table>	(ア) 列車案内システム等改良工事 事業期間 H24～26 H24 166,857千円 644,814千円	駅ホーム及び改札口の列車案内設備について、行先表示や乗換情報を充実させるとともに、経年劣化した運転システムの改良を実施した。(空港線、箱崎線)	(イ) 駅トイレ改良工事 事業期間 H18～ H24 36,792千円 1,785千円	経年劣化した駅トイレの改良を年次計画により実施した。(中洲川端駅実施設計)	(ウ) 駅階段の段差明瞭化改良工事 事業期間 H25～ 20,355千円	年次計画により、駅階段の段差部分の視認性向上を図り、滑りにくいものに改良した。 (西新駅、大濠公園駅、赤坂駅、千代県庁口駅)	(エ) 車内優先スペース案内表示整備 13,145千円	車内車いすスペースの床面に、滑りにくい素材で、車いす・ベビーカー等の優先表示を整備した。 (全車両)
(ア) 列車案内システム等改良工事 事業期間 H24～26 H24 166,857千円 644,814千円	駅ホーム及び改札口の列車案内設備について、行先表示や乗換情報を充実させるとともに、経年劣化した運転システムの改良を実施した。(空港線、箱崎線)								
(イ) 駅トイレ改良工事 事業期間 H18～ H24 36,792千円 1,785千円	経年劣化した駅トイレの改良を年次計画により実施した。(中洲川端駅実施設計)								
(ウ) 駅階段の段差明瞭化改良工事 事業期間 H25～ 20,355千円	年次計画により、駅階段の段差部分の視認性向上を図り、滑りにくいものに改良した。 (西新駅、大濠公園駅、赤坂駅、千代県庁口駅)								
(エ) 車内優先スペース案内表示整備 13,145千円	車内車いすスペースの床面に、滑りにくい素材で、車いす・ベビーカー等の優先表示を整備した。 (全車両)								